

社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備)

9.安心、安全な交通を支える道路整備によるにぎわいのあるまちづくり

事後評価結果

美濃加茂市

平成26年3月

社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備) 事後評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	美濃加茂市	計画の名称	9.安心、安全な交通を支える道路整備によるにぎわいのあるまちづくり		
計画の期間	平成21年度～平成25年度(5年間)			事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	381百万円

1)計画の目標 狭隘道路の解消、バリアフリーに配慮した歩車道の分離による道路整備、道路修繕、地域間のアクセス向上に伴う防災対策の強化により、安全・安心・快適なにぎわいあるまちを形成する。

2)計画の成果目標(アウトカム指標)
 ・美濃太田駅周辺地区バリアフリー整備計画に基づき、特定道路に指定された市道(1600m)のうち1200mをバリアフリー化する。
 ・学校施設等の公共施設が集中する神明森山線の歩道860mを整備する。
 ・国道と地下交差する市道6路線のうち4路線について、豪雨により冠水した場合の通行車両への情報通知及び市役所への通報システムを設置する。
 ・橋長15m以上で幹線道路に架かる橋梁について橋梁長寿命化計画を策定する。

3)事業の実施状況	A 地方道路整備事業	番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	省略工種	率	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	期間	達成状況
		9-A1	道路	一般	美濃加茂市	直接	公安	0.55	(1)島深田線	歩道段差解消 L=680m	平成24～25年度	完了
9-A3	道路	一般	美濃加茂市	直接	改築	0.55	(1)神明森山線	拡幅・歩道整備 L=860	平成21～23年度	完了		
9-A4	道路	一般	美濃加茂市	直接	公安	0.55	(他)稲辺349号線外5路線	道路情報提供装置 N=8基	平成23～25年度	完了		
9-A5	道路	一般	美濃加茂市	直接	補修	0.55	井口石橋線外5路線	道路舗装補修 L=4.77km	平成24年度	完了		
9-A6	道路	一般	美濃加茂市	直接	公安	0.55	二ツ塚飼米線外3路線	路面着色 L=1.22km	平成24年度	完了		
9-A7	道路	一般	美濃加茂市	直接	公安	0.55	若宮加茂野線外6路線	横断歩道橋補修 N=7橋	平成25年度	完了		
C 効果促進事業	9-C1	計画・調査	一般	美濃加茂市	直接	長寿命化計画策定	0.55	橋梁長寿命化計画策定	対象橋梁数 N=32橋	平成23～25年度	完了	
	9-C2	計画・調査	一般	美濃加茂市	直接	路面性状調査	0.55	路面性状調査	調査延長 l=4.77km	平成24年度	完了	
	9-C3	計画・調査	一般	美濃加茂市	直接	歩道橋点検	0.55	横断歩道橋調査	対象歩道橋梁数 N=7橋	平成24年度	完了	

3)計画の成果目標(アウトカム指標)の達成状況	指標		単位	当初現況値		最終目標値		評価値		達成度	総合所見
	指標	内容		基準年度	目標年度	評価年度	評価年度				
指標1	美濃太田駅周辺地区バリアフリー整備計画で特定道路に指定されている市道路線の整備率(計画延長1,200m/特定道路指定延長1,600m)	%	29	H20	75	H25	75	H25	○	バリアフリー整備計画に指定されている路線のうち、680mについて歩道段差解消をおこない、既存とあわせ1,200mのバリアフリー道路ネットワークが形成された。	
指標2	学校施設等の公共施設が集中する神明森山線のバリアフリー構造の歩道整備率(860m/3,485m)	%	0	H20	24	H25	24	H25	○	学校など公共施設が集中する神明森山線の歩道設置工事を計画通り実施し、最終目標値を達成した。アンケートおよび関係者ヒアリングから実施に対する高い満足と効果が確認できた。	
指標3	国道と地下交差する市道について、豪雨により冠水した場合の通行車両への情報通知及び市役所への通報システムの整備率(4箇所/6箇所)	%	0	H20	66	H25	66	H25	○	国道248バイパスなどと地下交差する市道について、豪雨による冠水等を通知するシステムを計画どおり設置した。アンケート調査において、災害時の道路情報定期様装置の認知度は低いものの重要度の高い社会資本整備項目であることが確認できた。	
指標4	橋長15m以上で幹線道路に架かる橋梁についての橋梁長寿命化計画策定	%	0	H20	100	H25	100	H25	○	橋梁長寿命化を計画どおり策定した。アンケート調査から、橋梁やトンネル等の点検は重要な社会資本整備の項目であると認識されていることが確認できた。	

4)その他の事業効果(当初設定した成果目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	当初現況値		最終目標値		評価値		達成度	総合所見
	指標	内容		基準年度	目標年度	評価年度	評価年度				
定量的評価	その他指標1	美濃太田駅周辺の歩道段差解消事業の効果測定(市民アンケートより)	%	/	/	/	55	H25	-	想定した事業効果「歩行者の安全性・安心感の向上」について、アンケート調査における「効果があった」「やや効果があった」と回答した割合を測定。	
	その他指標2	学校等公共施設が集中する地区の歩道整備事業の効果測定(市民アンケートより)	%	/	/	/	56	H25	-	想定した事業効果「歩行者の安全性・安心感の向上」について、アンケート調査における「効果があった」「やや効果があった」と回答した割合を測定。	
定性的な効果	・神明森山線の整備により路線の利用頻度が増えたことで、沿線にある図書館の認知度が向上し利用者数が増加した。また広域的な道路ネットワークが整備され、他の市からの来訪があるなど利用地域の拡大に効果があった。 ・神明森山線にて広い歩道が整備されたことで、通学時間帯における歩行者・自転車間の接触が避けられ安全性に効果があったことが確認できた。										

5)今後の取り組み等	段階	内容・意見										意見徴収の機会
	課題の変化	当初想定した効果が発揮されていることが確認できた。										アンケート調査
	今後の取り組みへの反映	実施した市民アンケートより、市民が考える重点的に取り組むべき社会資本整備項目として、「自然災害(地震・水害等)の対策」「災害時の道路情報提供装置整備」「歩道のバリアフリー化」等、継続的に取り組むべき項目として「橋梁やトンネル等の点検」「歩道の整備」「主要道路の整備」等が抽出された。										アンケート調査